

魔法のプロジェクト2022 活動報告書

報告者氏名: 椿 啓子

所属: 大衡村立大衡小学校

記録日: 2023年2月13日

キーワード: 読み書き指導

【対象児の情報】

・学年

小学3年生

・障害名

知的障がい

・障害と困難の内容

・みんなと同じにできることがある一方で、「読む、書く、話す、聞く」の困難さから失敗経験を重ねてきたため、それらを伴うことへの取り組みを拒否してしまう。

・文字を書きたい意欲はあるが、空間認知や運筆に困難があるため、文字の形が整わない。

・音韻認識とデコーディング能力に困難さがあるので読みが定着しにくい。

・使用した機器に

Pad iPhone watch chromebook(学校貸与機器) AIスピーカー Pepper

【活動目的】

○当初のねらい

① 「読めた」「書けた」という経験を積むことで読み書きできるものを増やしていく。

② 伝える方法を身に付け、できることを増やすことで自信をつけさせる。

・実施期間

令和4年5月6日から令和5年2月

・実施者

椿 啓子

・実施者と対象児の関係

学級担任

【活動内容と対象児の変化】

○対象児の事前の状況

(行動面)

・負けず嫌いで、できない姿を見られたり指摘されたりすることを嫌う。その一方で人の間違いは指摘する。

・自信のなさやできないことへの恥ずかしさから活動を拒否することがある。活動内容が変わり、できることになると気持ちを切り替えることができる。拒否せずに小声で「難しいんだよ。」「できないんだなあ。」と言って助けを求めることもある。

・係の仕事や教師のお手伝いは進んで行っている。一度指示されると次回からは忘れずに行うことができる。

・登校後、交流学級に遊びに行ったり、休み時間に交流学級の児童と外遊びをしたりすることがある。

・交流授業でも苦手なこと以外は一斉指示や周りの様子を見て活動することができる。

・正しい姿勢を保って座っていることが難しく、椅子からずりおちて床に座った姿勢で学習することがある。

(学習面)

<学習環境>

- ・音楽・体育・図工は通常学級で交流学习。
- ・その他の教科は所属学級で学習。

<読み書きの状況>









- ・昨年度の魔法の取り組みを経て平仮名清音の読み書きはできるようになった。知っている言葉は読むことができるが、知らない言葉は一文字ずつ拾って読んでも間違えることが多い。拗音の読み書きは難しい。片仮名も読めるようになり書くことができるものもある。漢字に興味を示すようになり、曜日は読める。
- ・発音は不明瞭で聞き取りにくい。早口なことと間違えて覚えているものがある。(「らいおん」を「だいおん」という等。「ら」が発音できないわけではない。)聞き取れないので聞き返す回数が増えると黙ってしまう。
- ・知らない言葉でも文字を一文字ずつ拾って読もうとすることが増えてきた。
- ・平仮名は書けるようになったが鉛筆の持ち方が毎回変わったり急いで書いたりして字形が整わない。整った文字で書くこともある。

<その他>

- ・読み聞かせは好んで聞いている。他の人たちの会話をよく聞いていて、口をはさんでくることがある。
- ・昨年度の取り組みにより iPad の文字入力に自信を持っている。(50音キーボード使用)

○活動の具体的内容

1 「読めた」「書けた」という経験を積み、読み書きできるものを増やしていくために

実施時期と使用したアプリなど	活動内容																												
<p>5月～</p> <p>①  ② </p> <p>③  ④ </p> <p>⑤ </p> <p>①音韻認識力をはぐくむひらがなトレーニング ②ひらがなめっちゃわかるもん ③なぞっておぼえるひらがなカタカナ ④ピノバ国語小学1年 ⑤国語海賊～1年生の漢字編～</p>	<p>「読めた」「書けた」という経験を積む</p> <p>○いろいろな言葉に繰り返し触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流学級から翌日の授業予定のメモをもらって読む。 ・毎朝自分の時間割を書き写し、朝の会で読んで発表する。 <div data-bbox="1104 1303 1449 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td>十月八日</td> <td>よう日</td> <td>あき</td> <td>ふゆ</td> </tr> <tr> <td>天気</td> <td>きおん</td> <td>1h</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>あまのかり</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>風こ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>たしか</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>がうがっ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>生やっ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「音韻認識力をはぐくむひらがなトレーニング」を使用し、特殊音節の問題等に取り組む。 ・「ひらがなめっちゃわかるもん」「なぞっておぼえるひらがなカタカナ」を使用し、片仮名の読み書き練習をする。 ・日直の時は献立表を読む。 ・ドリル「おんどくれんしゅうちょう」を書き写して読む。 ・「ピノバ国語小学1年」「国語海賊～1年生の漢字編～」に取り組み、問題文を読むことで短文に触れる。漢字の読みも覚える。 	十月八日	よう日	あき	ふゆ	天気	きおん	1h	℃	1	あまのかり			2	風こ			3	たしか			4	がうがっ			5	生やっ		
十月八日	よう日	あき	ふゆ																										
天気	きおん	1h	℃																										
1	あまのかり																												
2	風こ																												
3	たしか																												
4	がうがっ																												
5	生やっ																												

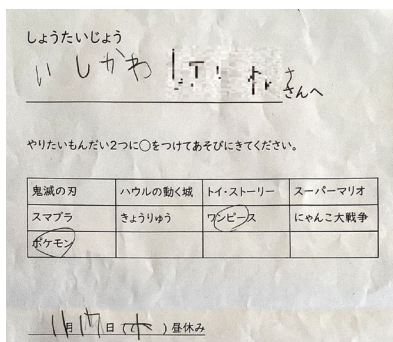
2 伝える方法を身に付け、できることを増やすことで自信をつけさせるために

実施時期と使用したアプリなど	活動内容
<p>5月～2月</p>  <p>読み放題 絵本が読み放題</p>  <p>safari</p> <p>7月～12月</p>  <p>Bitsbaord</p>	<p>語彙を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に1回程度「絵本が読み放題」の視聴をして様々な言葉に触れる。 <p>調べたり伝えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のあることを検索する。(好きなキャラクターについてが多い) ・文字入力には喜んで取り組んでいた。入力の仕方を見ていると、予測変換の中から選ぶよりも一文字一文字入力していることが多い。 <ul style="list-style-type: none"> ・「Bitsbaord」でいろいろな問題を作成し、自分で使ったり学級の友達や先生方に使ってもらったりする。作成過程で画像や名前を調べる。 ・「Bitsbaord」の問題作りでは、「○○ちゃんには△△がいいかなあ。」と友達に興味を持っていそうなアニメなどを想像し、友達のために作ってあげたいという気持ちを持つことができたので、その後の「キャラクタークイズに招待しよう」※の学習に発展させた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="646 840 893 1142" style="text-align: center;">  <p>トリケラトプス</p> </div> <div data-bbox="1053 840 1332 1176" style="text-align: center;">  <p>かまど ねずこ とみおか きゆう うずい てんげん れんごく きようじゅうろう</p> </div> </div> <p>「Bitsbaord」で作成した問題の一部</p>
<p>7月～1月</p>  <p>+ ByTalk dropstep</p> <p>12月～2月</p>  <p>3秒日記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みや冬休みに ipad を家庭に持ち帰り「dropstep」を使用する。覚えた言葉などでやりとりをする。 <div style="text-align: right;">  </div> <p>日記を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日付と天気、昨日のことなど毎日決まったパターンで書く。文を書くことが難しいうちは、予め入力した単語を組み合わせるだけで済む「3秒日記」を使用する。2月からはノートに日記を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1月13日 (金) 終日 こどもひろばでもだちとあそんだ。たのしかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1月15日 (日) 終日 ままとかいものをした。つかれた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1月18日 (水) 終日 センターさんでひとりであそんだ。つかれた。</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div>

「キャラクタークイズに招待しよう。」※

実施時期 10月～12月

実施方法	活動の様子
<p>①「Bitsbaord」で作ったクイズを交流学級で紹介し、他に作ってほしいキャラクタークイズについてアンケートをとる。</p> <p>②アンケートをもとに新たに作成する問題を決定し作成する。</p> <p>③招待状を作る(chromebook ドキュメント使用)</p> <p>④印刷した招待状に招待する人の名前と日付を手書きして配る。</p> <p>⑤招待状をもらった子どもたちが支援学級に遊びに来る。(混雑緩和のため1日に3名とし、昼休みに実施)</p>	<p>①自分で紹介するのは恥ずかしいということで担任が説明をした。紹介している後半には自らiPadの操作をするようになった。アンケートは担任が作成した。</p> <p>②担任と一緒に集計作業をし、希望が多かったものから3種類新たに作成することを本人が決めた。知らないキャラクターだったのでためらう様子がみられたが、調べれば大丈夫と提案すると前向きに取り組んだ。</p> <p>③担任が下書きしたものを見ながらドキュメントで作成した。</p> <p>④一日に3名分の名前を手書きした。友達が読みやすいようにゆっくり丁寧に書くことを心掛けていた。書き終わると一人で渡しに行った。</p> <p>⑤招待状はやりたい問題をチェックして持参することにしてあり、チェック欄の言葉を本児が確認して問題を出してあげた。</p>



招待状
宛名を丁寧に書いている。



遊びに来た子がクイズに挑戦中

○対象児の変化

- ・拾い読みではあるが未知の言葉でも自分で読もうとするようになり、日直の際献立を読めるようになった。日直以外の日も献立を自分で読んで確認している。
- ・「おんどくれんしゅうちょう」の書き写しはスムーズにできるようになり、10月頃からは平仮名の文であるにもかかわらず自分で片仮名に直して書くようになった。長い文章を一度に書くのは大変だからと、自分で書く分量を決めて少しずつ書き進めた。自信のない文字は片仮名表で調べながら書いており、書くことだけでなく調べることも身に付いた。
- ・分からないことは調べるようになった。「キャラクタークイズに招待しよう」の時のキャラクター名や画像はもちろんだが、生活の中で分からないと思ったものも気軽に調べるようになった。始めに入力した言葉で検索できないときは他の言葉を追加したり言葉を変えたりと検索ワードも自分で工夫するようになった。
- ・キャラクタークイズの招待状を書くときにゆっくり書くことを心掛けるようになり、その後も文字を書くたびに声掛けすると気をつけて書いている。また、読みにくい文字を書き直すように言うと、素直に応じている。

・主観的気づき

ICT 機器を活用したことによって自分から調べたり練習したりすることができ、楽しみながら読み書きの力をつけることができたのではないかと。

○平仮名や片仮名の単語の読み書きが可能になった。特に、片仮名の読み書き練習の課題は何度も与えなかったが、自分からアプリで練習したり文の書き写しで平仮名を片仮名に書き換えたりして自ら学んでいった。

○文字を習得したことによってタブレットで調べることが可能になり、分かることやできることが増えてきている。

・エビデンス

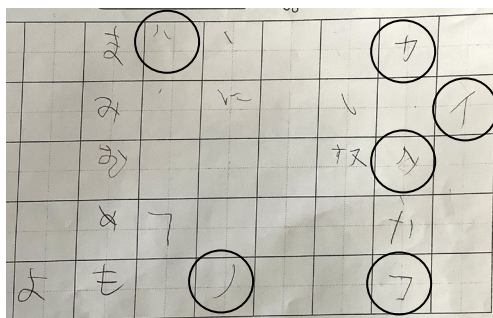
<読み書きの状態から>

①読み書きできる数の変化

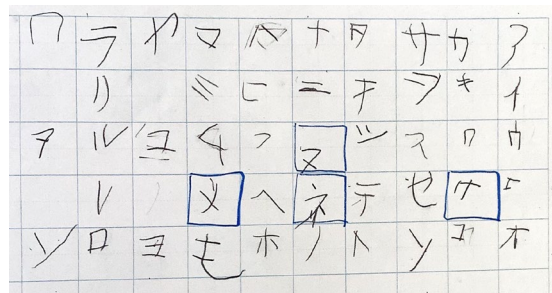
	平仮名の読み	平仮名の書き	片仮名の読み	片仮名の書き
R3年4月	35	25	0	0
R4年1月	46	42	40	6
R5年1月	46	46	46	38

(片仮名)

片仮名の書きで全く想起できなかったのは4文字だった。



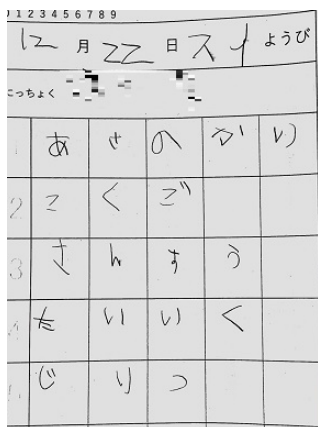
令和4年1月
○が書けた文字



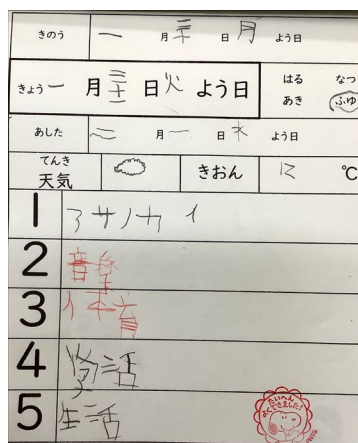
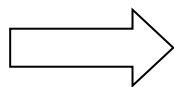
令和5年1月
□が想起できず、後から書いた文字

(漢字)

昨年度末に読める漢字が曜日だけだったが、1年生の配当漢字のうち、54文字が読めるようになった。(音読みか訓読みいずれかが読めれば1文字と数えている。)教科名は漢字で書けるようになった。予定表は漢字と片仮名で書いている。



R3年12月

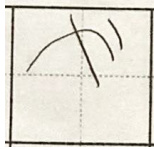
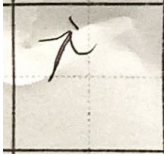


R5年1月

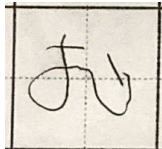
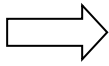
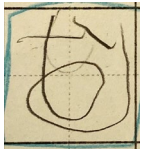
(平仮名)

平仮名は全部書けるようになった。

○ R4年1月に想起できなかった文字「え」「や」



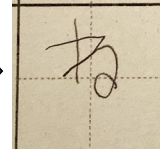
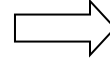
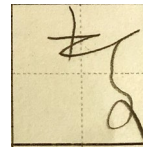
判別しにくかった文字「む」



R4年1月

R5年1月

「ね」



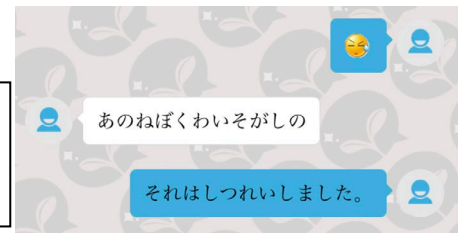
R4年1月

R5年1月

②伝え方の変化

「dropstep」のやりとりでは、冬休みには表記の間違ひはあるものの文を送るようになった。

→
「あのねぼくわ(は)いそがし(い)の」と書いている。



・その他エピソード

エピソード 絵本を音読するようになった

・大型本を開いて文を音読し、「面白い。」と言っていた。去年は文や言葉というより主に効果音的な文字を読んでいたの大きな成長を感じた。



エピソード 朝の会で

・朝の会で一人一人が「朝、食べてきたもの」を発表している。友達が言うメニューの中に本児が知らないものがあると、「後で調べてみよう。」と言うようになった。ある時Bさんが「アーモンド」と答え、アーモンドは分かるが朝ご飯で食べるの？と他の子達も不思議がるとBさんは「飲み物」と付け加えた。その二つの言葉で本児が検索して「アーモンド効果」の画像を探し当て、Bさんに画像を見せて確認すると飲んできたことが分かり、みんなで納得できたということがあった。